

丹波っ子の成長のために 児童書 46 冊を市に寄贈

1月29日、パナソニックライティングシステムズ労働組合春日支部（春日町黒井）から児童書46冊が寄贈されました。

寄贈された本は、日本の伝統や世界の偉人について学べる本で、春日図書館の寄贈コーナーに設置し、1月31日から貸し出しを開始しています。荒木執行委員長は「友だちや家族と読んだ本の話をして、成長につなげて欲しい」と話しました。



パナソニックライティングシステムズ労働組合春日支部のみなさんと寄贈された図書を受け取る辻市長

体と頭を使うニュースポーツ 囲碁ボール交流大会が開催されました

1月23日、柏原住民センターアリーナで「スポーツクラブ21ひょうご」全県スポーツ大会囲碁ボール交流大会が開催されました。

囲碁ボールは、碁盤の目模様のマットに向かって白黒10個のボールを打ち、並べることを競うニュースポーツで、幅広い世代が楽しんでいます。

参加者は「体だけでなく、頭も使うスポーツなので奥が深い。チーム戦なので仲間と協力して闘うのも囲碁ボールの醍醐味」と話してくれました。



チームで作戦を考えながら慎重にボールを打ちます

小学6年生で結成 選抜女子バレーチームが大会へ出場

2月5日、市内小学校の6年生で編成する女子バレーボールチームが「SAKURAカップ」「Intercity Glory Championship 2017 in KatoCity」への出場を市長に報告しました。

メンバーは小学校の少女バレーボールチームから選抜。「普段は違うチームで戦っているので、チームワークを高める努力が必要。声を出してボールをつなぎたい」と力強く宣言しました。



大会出場を市長に報告したバレーボール丹波市選抜チーム

成約第1号！ 「住まいるバンク」で丹波市に移住

1月29日、「丹波市住まいるバンク」を利用した移住者第1号となる、戸田さんご夫婦が市役所を訪問しました。

「丹波市住まいるバンク」は移住希望者と空き家を売りたい・貸したい人をつなぐ制度です。また、移住前には、近隣自治会との顔合わせを行い、スムーズに移住ができるようサポートもしています。

戸田さんご夫婦は「事前に自治会長さんと会い、温かな人柄でほっとした。安心して移住してこれました」と話してくれました。



戸田さんご夫婦（中央）と住まいるバンク担当の中川ミミ地域おこし協力隊員（写真左端）と辻市長（写真右端）

丹波の宝をPR 黒井城跡紹介映像完成 「風雲急を告げる黒井城」

1月27日、ハートフルかすがで黒井城跡紹介映像「風雲急を告げる黒井城」の完成披露試写会が行われました。地元が誇る観光資源「黒井城跡」を市内外に広く知ってもらおうと、黒井自治協議会と黒井地区元気な地域づくり特別事業実行委員会が中心となって紹介映像を作成しました。

撮影は、早朝から約30人の地域住民が協力して太鼓や手作り甲冑を背負って黒井城跡に登り、行われました。空撮アーティストの前田太陽さん、イラストレーターの中川英明さんも参加。戦国時代の再現映像やイラスト、空撮などを使って、黒井城史や城のつくりなどを分かりやすく紹介しています。黒井地区元気な地域づくり特別事業実行委員長の婦木克則さんは「美しい雲海を背景に素晴らしい映像ができました。たくさんの人に見てもらいたい」と話してくれました。



①完成した紹介映像が収められたDVD ②紹介映像のワンシーン。太鼓を打ち鳴らし、勇ましく出陣する武者③完成披露試写会でされたトークセッション「制作裏ばなし」

ESDこども活動発表交流会 遠阪小 生物リサーチ活動を発表

1月23日、OMMビル（大阪市）でESD（持続可能な開発のための教育）こども活動発表交流会が行われ、遠阪小学校5年生9人が遠阪川での生物リサーチ活動「遠阪川博士になろう！」を発表しました。

児童は、地元の遠阪川の調査などの取り組みについて、写真を使いわかりやすく説明。「今後も川の調査や地域の人への呼びかけを続け、ふるさとの自然を守りたい」と宣言しました。



スライドを使って自分たちの活動を発表する遠阪小学校5年生の児童

オーストラリアからこんにちは 6人の留学生が来丹しました

1月25日、オーストラリアのオークリーサウス小学校（メルボルン）から東小学校に留学中の6人が市役所を訪問しました。

両校は、一昨年からインターネットを利用した遠隔授業で交流を重ねており、今年初めて留学生を受け入れることになりました。

留学生たちは「丹波市に来て、初めて雪を見ました。オーストラリアではできない雪遊びをして、みんなと仲良くなりたい」と話してくれました。



丹波市役所を訪問した留学生6人と辻市長（写真中央）と引率の先生（写真左端と右端）